

学校心理学に関する所定の領域に関する科目の対応表

学校心理学に関する8つの領域と実習	学校心理学大学院類型	公認心理師大学院類型	教職大学院類型
領域1	学校心理学	◆教育分野に関する理論と支援の展開	(1)～(5)の5領域全てを履修すること ただし合計16単位以上 (1) 教育課程の編成・実施に関する領域<2単位以上> (2) 教科等の実践的な指導方法に関する領域<2単位以上> (3) 生徒指導・教育相談に関する領域<4単位以上> (4) 学級経営・学校経営に関する領域<2単位以上> (5) 学校教育と教員の在り方に関する領域<2単位以上>
領域2	教授・学習心理学	◆教育分野に関する理論と支援の展開	
領域3	発達心理学	◆福祉分野に関する理論と支援の展開	
領域4	臨床心理学	保健医療分野に関する理論と支援の展開	
領域5	心理教育的アセスメント	心理教育的アセスメントに関する理論と実践	
領域6	学校カウンセリング・コンサルテーション	心理支援に関する理論と実践	
領域7	特別支援教育	◆福祉分野に関する理論と支援の展開	
領域8	生徒指導・教育相談、キャリア教育	心の健康教育に関する理論と実践	
実習1	心理教育的アセスメント基礎実習	心理実践実習 等	
実習2	学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習		
専門的実務経験	学校等における実習1年。 15週×2期等の授業での実習をあてることも可(ただし、実習1・実習2はこれに含まない。シラバス要提出)	学校等における実習1年。 教育分野を含む施設での「心理実践実習」等をあてることも可。(ただし、実習1・実習2はこれに含まない。その場合はシラバス要提出)	学校等における実習1年。 「学校における実習」をあてることも可。(その場合はシラバス要提出)

◆公認心理師大学院類型では、「教育分野に関する理論と支援の展開」を、領域1または領域2のいずれかの1科目にあてることができる。領域1にあてた場合は、領域2「教授・学習心理学」に関する科目について単位を修得する必要がある。そして申請時に、領域2「教授・学習心理学」に関する科目のシラバスを添付すること。同様に、「福祉分野に関する理論と支援の展開」は領域3または領域7のいずれか1科目にあてることができるが、残る科目については単位を修得し、申請時にその科目のシラバスを添付すること。